

株式会社 IMAGICA TV 第 11 回番組審議会議事録

- 開催日： 2013 年 4 月 26 日(金) 11:00～13:00
- 開催場所： 株式会社 IMAGICA TV 会議室
- 委員の出席： 委員の総数 8 名
出席委員数 7 名
- 出席者： 審議員：池ノ辺直子、川上エリカ、草場滋、高寺重徳、立川談慶、
富澤一誠、湯浅正敏（以上 50 音順、敬称略）
事業者：木戸英晶、伊藤明、清正徹、原田俊英、井田勇、野村憲一、
齋宏伸（記）
- 議題： 「イマジカ BS」、「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

■ 「イマジカ BS」の編成及び番宣番組『名画喫茶イマジカ BS』について

各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 遠藤憲一さんは今旬の方で、玄人好みなので『名画喫茶イマジカ BS』のキャスティングが成功している。
ナレーションだけでは残念なので、出演も検討してほしい。
- ・ 名画をじっくり見てもらうという編成の意図はいいと思う。懐かしいということだけではなく、再発見など知的好奇心を刺激するような新鮮さを期待したい。
- ・ 映画解説など、放送作品へどのように誘導できるのかも重要な要素だと思う。
- ・ アクティブシニアを対象にした名作を集めた興行企画が成功しており、さらに若い人にも反響が出ている。幅広い層への広がりも重要。
- ・ 新作の公開と放送作品との連動が、より強化されることを期待したい。

■ 「イマジカ BS」オリジナルドラマ『ユーコンの友人』について

各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 実力のある出演俳優陣で、舞台となるカナダの風景は美しかったが、ドラマ番組としては分かりにくい内容だった。
- ・ 異なるストーリーラインが交錯するところなどが描き切れていなかったと思う。全体的に間延びした印象になっている。
- ・ オリジナルドラマでもあるので、作品を左右する脚本の充実を期待したい。
- ・ 舞台であるユーコンの歴史や地理的情報などをもっと分かりやすく提供した方が、視聴者の理解を得られたのではないかな。

■「歌謡ポップスチャンネル」オリジナル番組『徳光和夫のつれづれ歩き』について、各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 徳光さんにはもっと無茶ブリしてもよかったのではないか？その方が徳光さんの個性が活かせるかもしれないと感じた。
- ・ 散歩番組というのが面白い。ただし、もっと地元で根差した番組にしてもらいたい。有楽町はよかったが、取り上げた土地に実際に出向いて撮影してもらいたかった。
- ・ 番宣番組という特性も理解できるが、音楽紹介をもっと充実してもらいたかった。

■「歌謡ポップスチャンネル」オリジナル番組『レッツゴーヤングコンサート 2012』について、各委員から、以下の様な意見・質問がなされた。

- ・ 40代を中心に楽しめる番組。40代をターゲットにするコンサートも多いので、そのようなコンサートを歌謡ポップスでやるのも面白い。
- ・ もう一工夫あっても良かったと思う。昔の映像との比較とかがあれば、若い人もより楽しめるかもしれない。
- ・ 懐かしいということだけでなく、今の活動とリンクさせるところがあっても良いと感じた。今のアーティストの活動や魅力を訴求することも切り口ではないか。

以上